



通級による指導

通級による指導とは小・中学校、高等学校などで通常の学級での学習や生活に、おおむね参加できている児童生徒が、本人の特性に応じた特別な指導を必要とする場合に行うものです。各教科などの授業は通常の学級で行いながら、個に応じた特別の指導を「通級指導教室」という学びの場で行う支援教育の形態の一つです。

令和4年度現在、本市では小学校13校中7校、中学校5校中2校に、通級指導教室を設置しています。在籍する学校に通級指導教室が設置されていない場合は、放課後、他校に設置されている通級指導教室を利用するか、他校の通級指導担当の教員が巡回をするなどして指導を行います。

通級による指導では、本人の特性による学習や生活の困難の改善・克服を目的とした特別の指導（自立活動）を受けられるため、通常の学級における授業においても、その指導の効果が発揮されることにつながります。

指導の内容は、自立活動が中心となりますが、特に必要があ

る時には、児童生徒の状況に応じて各教科の内容を取り扱うことも認められています。例えば、学習の定着が難しい児童生徒に対して、限られた行に視点を絞るためのリーダーイングトラッカーなどを使って読み取る練習や、算数の計算の手順が示された支援ツールを使って手順通りに計算の練習をすることが挙げられます。つまり、学習内容を定着させることではなく、学習内容を自分の力で理解するための方法を学びます。通級による指導で各教科の内容を取り扱うことは、単に各教科の学習の遅れを取り戻すための指導ではありません。支援学級に在籍している児童生徒は、支援学級で同様の内容を実施することができると、通級による指導を受けることはできません。通常の学級に在籍している児童生徒の学びの場として、通級による指導を検討する場合は、在籍校の担任の先生や支援教育コーディネーターの先生に相談してください。

学校園紹介



50周年から未来へ
～末広小学校～



末広小学校は昨年度、創立50周年を迎えました。

創立50周年式典で、初代卒業生でタレントの山本浩之さんをお招きし、講演していただきました。その中で「今日一緒にいる人（家族や友だち）を大切にしよう。身近にいる人には、優しくしよう。人を傷つけることは絶対にやめよう。本当に強い人は優しい人です。心配りができる人です。」「言葉を大切にしよう。言葉を操って楽しく生きよう。勇気をもって言葉で伝えよう。」と在校生にメッセージをいただきました。これからの未来を生きるために今日を大切に、今年度も日々の活動を充実させています。

【ファミリー活動】縦割り班活動として月に1回程度実施しています。今年度は修学旅行に持って行く千羽鶴づくりや、運動会の応援練習、また、休み時間に縦割り遊びやそうじを行い、



高学年が低学年に丁寧に教えたり、優しく接したりするようにしています。低学年からのお礼の言葉でみんながうれしい気持ちになれる時間です。



体育大会を終えて
～第三中学校～



9月30日(金)に体育大会を行いました。3年生にとっては最後の体育大会で、夏休みからリーダーがダンスの練習に励み、当日は素晴らしい集団演技の披露もできて、コロナ禍前の従来のプログラムを実施することができました。

また、今年は全学年の保護者に参観の案内を行い、保護者のみなさんに体育大会を見てもらえました。さらに、11月に実施した「合唱祭」では生徒たちは歌を披露することができました。



【校舎内がきれいに！】

夏休み中に旧校舎のトイレ・3年全教室の扉も改修工事が完了し、生徒たちは大喜びでした。

環境の変化で、生徒たちも気持ちをおだやかに授業に集中できています。

